

新潟大学第30回全学FD

# 情報リテラシー教育の実践

## － 教員との連携 －

平成24年10月29日(月)

学術情報部学術情報サービス課  
情報調査係 高井 真利子

# 1.情報リテラシー教育の実績

## 利用統計

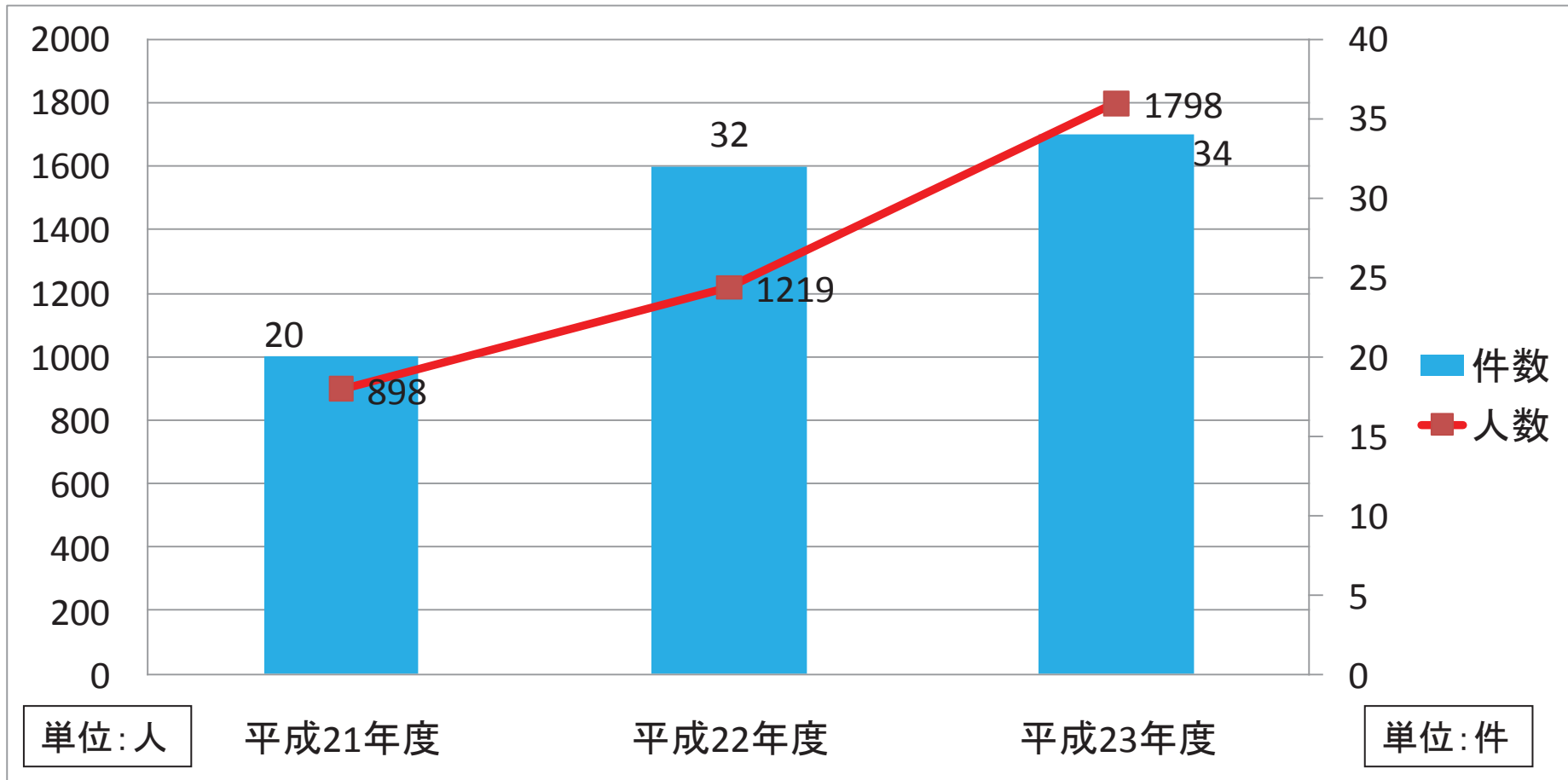
＜H23年度 授業によるガイダンス(スタディ・スキルズ等)利用状況＞

前期[4月～6月]

部局名	グループ数 [回数]	参加者 数
人文学部	9	188
法学部	2	22
教育学部	3	51
理学部	3	98
農学部	3	176
医保健学科	2	80
MOT	1	16
その他授業	2	700
計	25	1,331

後期[10月～11月]

部局名	グループ数 [回数]	参加者 数
人文学部	2	36
経済学部	2	316
教育学部	2	33
大教開発セン ター	1	15
その他授業	2	67
計	9	467



## 授業によるガイダンス過去3年間の利用状況

- \*平成22年4月にラーニング・コモンズがオープン
- \*学部の会場でのガイダンスの件数・人数も含む
- \*ガイダンス期間：4~7月、10月~11月

## 2.情報リテラシー教育の事例

### 2-1. ラーニング・コモンズにおけるガイダンス

- **スタディ・スキルズ** ※ [専門科目]
- **学生企画プロジェクトベース学習** [Gコード科目]
- **大学生活を考える** [Gコード科目]
- **わが学問・教育** [Gコード科目]
- **レポート指導補助TA/SA講習会** [経済学部]
- **図書館ガイダンス「レポート・卒論（修論）のための文献情報の探し方」** [図書館主催]

※**大学での学習の基本を学び、学問・研究への態度を育成して、高等学校から大学への転換教育を行うもの。**  
(新潟大学農学部ホームページより)

ラーニング・コモンズで、パソコン操作しながら  
ガイダンスを受ける学生たち (わが学問・教育)



## 2-2. ガイダンスの主な内容

- 蔵書検索OPAC等を利用した図書・雑誌の探し方
- 雑誌記事検索ためのCiNiiなどのデータベースの利用方法
- 電子ジャーナルの使い方
- 新聞記事データベースの使い方
- 新潟大学が所蔵しない文献の入手方法

※教員と図書館職員が協力して授業内容にふさわしい情報リテラシー授業を計画する。

# 3.情報リテラシー教育の活用

＜ラーニング・コモンズやICT講義室を利用して情報リテラシー教育を実践する＞

## 3-1.ガイダンス＋スキルアップトレーニング(実践)ができる

- ・ **情報検索は大学生にとって必須のスキル！**
- ・ **ガイダンスで覚えたスキルを使ってすぐ実践！**
- ・ **ワークシートに検索した情報を記入**
- ・ **グループで調査した内容を「プレゼンエリア」で発表！**

### 3-2.情報検索＋レポート・参考文献の書き方

- レポートの書き方は、学生にとって重要なスキル！
- レポートの書き方を修得
- 参考文献リストの作り方を知る
- 「レポートの書き方」という授業開発はこれから  
教員と図書館が協力して教え方を構築する！



ご清聴ありがとうございました。

ガイダンスの受付は随時行っています。

担当: 学術情報サービス課 情報調査係

内線: 6219 Eメール: c-sougo@lib.niigata-u.ac.jp

詳しくは図書館ホームページの「講習会・ガイダンス」のページを  
ご覧ください。

[http://www.lib.niigata-u.ac.jp/find\\_more/guidances.html](http://www.lib.niigata-u.ac.jp/find_more/guidances.html)

